

長崎国際大学大学院
人間社会学研究科 博士後期課程
地域マネジメント専攻
2025年度 春季入学試験

論述試験問題

注意：問題は、必須問題と選択問題に分かれています。
必須問題は、受験者全員が必ず解答しなさい、
選択問題は、2つのうちから1つを選んで解答しなさい。
なお、解答はいずれも別紙の解答用紙に記述すること。

第1問（必須問題）

問1

観光地域づくり法人（DMO : Destination Management Organization）は、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人である（観光庁 HP）。このような DMO を推進するための人材育成にはどのような視点からの学びが必要かを、以下の語句を 2 つ以上使用して論じなさい。（500 字程度）

日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）、観光体験、観光資源、地方観光、受入れ環境整備、バリアフリー、言語バリア、言語政策、多言語表記、マナー啓発、着地整備、交通アクセス、DMO 登録制度

問2

以下のツーリズムから一つ選び、観光と地域社会の持続可能な視点から、その現状と課題を論じなさい。（500 字程度）

エコツーリズム、グリーンツーリズム、カルチャーツーリズム、インダストリアルツーリズム、フードツーリズム、宗教ツーリズム、ダークツーリズム、スポーツツーリズム、ヘルスツーリズム

第2問（選択問題）

次の【問題1】，【問題2】のうちから1つを選んで答えなさい。

【問題1】

今日の長崎県には、人口減少、高齢者人口の増加、労働力の不足や地域経済の縮小などの課題が存在する。観光は、このような状況にある長崎県の地域社会と経済に貢献できる活動の一つとして期待されている。

長崎県における持続可能な観光を実現するため、例えば下の（1）～（3）のような取り組みが可能である。これらの取り組みをどのように行えばよいか。（1）～（3）のそれぞれについてのあなたの考えを、それぞれ300字以内で述べなさい。

解答する際には、観光事業者、観光地の地域住民、地方自治体（県や市）など、複数の立場を視野に入れて考えること。

（1）観光客が地域社会に貢献する活動

（例）自然環境の保護、伝統行事の支援など

（2）ユニバーサルツーリズム（バリアフリーツーリズム）

（例）障害のある人の観光の支援、多言語対応など

（3）オーバーツーリズム対策

（例）受入環境の整備・増強、需要の適切な管理、需要の分散化・平準化、マナー違反行為の防止・抑制など

（参考）長崎県の代表的な観光対象として、例えば次が挙げられる。

自然 雲仙天草国立公園，西海国立公園，世界ジオパーク，多良山系，国見山系など

温泉 雲仙温泉，小浜温泉，島原温泉など

世界遺産 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連資産，明治日本の産業革命遺産

食材 魚介（水産物），和牛など

【問題2】

T.マーシャルのシティズンシップ論について1,000文字以内で説明しなさい。